

I do wonder why you don't wonder about it.

これは、本発表会において我々が感銘を受けた言葉のうちの1つである。

2017年1月27日、28日に福島市の「子どもの夢をはぐくむ施設こむこむ」において、東北地区サイエンスコミュニティー研究発表会が行われた。(ちなみに「こむこむ」の由来は子どもの夢を育むと、**Communication** である。) 本校からは3グループが代表として発表に臨んだ。代表グループは以下の3つである。

- ・化学ゼミ「エマルジョン燃料の燃焼特性」(口頭発表)
- ・物理ゼミ「天候条件によって変化するバドミントンシャトル」(ポスター発表)
- ・災害研究「なぜ釜谷の津波被害は拡大したのか～二重堤防による津波対策～」(ポスター発表)

Abstract

【口頭発表会(化学)】

エマルジョン燃料についての発表だった。エマルジョンとは乳化のことであり、エマルジョン燃料とは燃料と水を混合し、霧状に散布して点火することで燃焼効率を上げるために用いられる燃料のことである。2年化学班は、燃料に含まれる炭素が効率よく燃焼する条件についての研究だった。発表は全体として落ち着いていて、丁寧な発表だった。質問もいくつか行われたが、それぞれに的確に答えていた。エマルジョン燃料に関する研究は他校にももう1つあったが、仙台一高の化学班は、その発表と比較しても劣らない独自の発表を行っていたように思う。

【ポスター発表会(物理)】

聴衆との距離は近かったものの、そのことによる緊張を感じさせないような、堂々とした発表だった。聞き惚れてしまう美声だった事は言うまでもない。バドミントンで用いられるシャトルについての研究であり、なじみ深いものだったため、聴衆から質問されていたように思う。また、それらの質問に対し、実際に行った実験や、東京研修の際に伺った企業から教えていただいた事を噛み砕いて丁寧に説明していた。

実験で使ったシャトルと違う型のシャトルを福島に持って来たのはご愛嬌である。



【ポスター発表会（災害研究）】

堤防の形を工夫することによる津波被害の軽減を目的とした研究であった。モデルを用いた実験が行われた。人も多く集まり、発表は賑やかであった。この発表は先生方にも評価され、優秀賞4枚のうちの1つに選ばれた。来年に向けてさらに成長してもらえればいいと思う。

【他校の発表】

学校全体というよりも、理数科やSSH部という部活として研究等を行っているグループが多いような印象を受けた。多くの人に聴いてもらおうと一所懸命に客引き、実験方法に関するアドバイスを聴衆に求めているところもあった。我々一高生も、更に精度が高く信憑性のある実験にしていこうという気概を持ち、もっと貪欲な探究心を持ってほしいと思う。また、同じ宮城県の公立高校である仙台三高が最優秀賞を受賞していた。三高がすぐれた発表をしていたのは確かであるが、一高が負けてしまったのが少し悔しいところである。一高生も三高の良い点を参考にし、研究の質を向上させてもらいたい。



会場「子どもの夢をはぐくむ施設こむこむ」外観

【交流会】

交流会では福島大学理工学群 共生システム理工学類 教授 佐藤理夫先生からとても有意義なお話を伺った。大学を考える上で「30歳の自分」を考えた上で、そこから逆算して自分が一番学びたいことが学べる大学に行くのであり、大学がゴールでない、ということを知り、将来のことをしっかりと考えた上で大学を学ぶべきだと改めて感じた。また、SSHでの研究については、その研究の価値や意義をもち、他人にしっかりと語れるようになることが大切であるということを知った。大学や社会に出てからはそれらができないと研究自体が認められない、ということだったのでSSHを通して研究ができている今からそれらを意識しながら研究を進めていくことが大切だと感じた。

Note

今回の福島での発表会は、大学教授を含む多くの聴衆の立会いのもとで発表できたことや、一泊二日の小さな旅行のようなものを研究の仲間とともに過ごすことができたことによって、出場者にとって大切な経験になったと思う。しかし、発表を行ったのは、選ばれた3つのグループのみである。そのグループは、ほかの人よりも多くの時間をSSHにつき込んできたことになるが、悩んだ時間の分だけ、自分の研究を大切に思えるようになったのではないだろうか。また、大きな世界がこの先に広がっていることも知ったのではないだろうか。今回の発表会で感じたことを心の隅に置いて、この先の様々な困難に向かっていってほしい。



Life is very short and there's no time
for fussing and fighting my friend. (THE BEATLES)